

## アドバイス

## ◆ デザイナーにとって資格とは

デザイナーになるための資格は存在しません。あなたが「デザイナー」という肩書の名刺をつくったとしても、法律には触れませんし、とくに問題ありません。では、だれでもデザイナーになれるのでしょうか？残念ながら、あなたに実力がなければ、たとえ自分でデザイナーを名乗ったとしても、どこからも仕事は来ないでしょう。

デザイン学科の学生のみなさんは、まずはデザイナー養成を目的とした本学のカリキュラムを最大限に生かし、しっかり勉強して実力をつけることが重要です。さまざまな科目を通して身につけた知識や能力は、作品という成果物として形になったとき、目に見える実力として示されます。それ以上の実力の証明はありません。

では、デザイナーをめざす学生にとって、資格は必要ないのでしょうか？きっとそうではありません。さまざまな資格を取ることは、作品だけでは伝わらない、あなたの能力の証明となるでしょう。

## ◆ たかが資格 されど資格

友人から聞いた話ですが、108個もの資格を持っている人が身近にいるそうです。資格を取ることが趣味なのか、すごい努力家なのかわかりませんが、びっくりしました。とてもマネできそうにありません。でも、もっと驚いたことは、どうやらその人は、いずれの資格を使って仕事をしているでもないということでした。そこまで彼を資格取得に駆り立てた理由まではわかりませんが、煩惱の数ほど資格を取っても、目的がなければただの話のネタでしかない

ということです。要は自分にとって本当に必要な資格を取ることです。ときどき就職活動をはじめた学生から、次のような質問を受けます。「履歴書に書ける資格がないので、だれでも取れる資格はありませんか？」この質問に対する答えはいつも同じです。「だれでも取れる資格なら取る意味がないだろ？」なかなか取れない難しい資格ほど、値打ちがあるのです。

## ◆ 具体的なアドバイス

インテリアや住宅設計など、住環境系の職業に就きたい人は、資格はできるだけ取った方がいいです。建築士が一つの目標となるでしょう。まずは「二級建築士」をめざせばいいですが、在学中に「一級建築士」の受験資格を得ておくことをお勧めします。※工業高校などで建築に関して学び、必要な単位を取った人は、本学在学中から二級建築士を受験できる場合があります。インテリアデザイナーをめざす人は、「インテリアプランナー」を取るといいですが、同時に「二級建築士」、できれば「一級建築士」を持っていると仕事の幅が広がります。「インテリアコーディネーター」は、ハウスメーカーに勤める人や住宅設備メーカー、家具の販売などに関わる人にお勧めです。

プロダクト系の職業につきたい人は、「プロダクトデザイン (PD) 検定 1級、2級」の資格をとることをお勧めします。さらに「カラーコーディネーター」など、関連する分野の資格を取ることもいいでしょう。

メディア系の職業に就きたい人は、本学デザイン学科が認定教育校となっている CG-ARTS 協会の資格をお勧めします。メディア系の授業が、ずばりこれらの資格の受験対策になります。

おすすめ  
受験資格

## 在学中に受験可能な資格試験

受験資格に制限がない資格試験なら在学中から挑戦できます。お勧めは、インテリアプランナーやインテリアコーディネーター、プロダクトデザイン検定、カラーコーディネーターやCG-ARTS協会主催の資格などです。なぜ、これらの資格は、だれでも受験できるのでしょうか？ 答えはずばり、学生に受験してほしいからです。だから、みなさんにとって、ねらい目だといえます。あとは、デザインのどの分野に進む人でも、CAD検定は挑戦してみても損はありません。

インテリアプランナー	インテリアコーディネーター
商業施設士 (補)	福祉住環境コーディネーター (1級・2級・3級)
CAD 利用技術者 (2次元CAD利用技術者 基礎・2級・1級 3次元CAD利用技術者 2級・準1級・1級 3Dプリンター活用技術検定)	
宅地建物取引士	カラーコーディネーター(アドバンス・スタンダード)
CGクリエイター検定 (エキスパート・ベーシック)	CGエンジニア検定 (エキスパート・ベーシック)
画像処理エンジニア検定 (エキスパート・ベーシック)	Webデザイナー検定 (エキスパート・ベーシック)
マルチメディア検定 (エキスパート・ベーシック)	
CG-ARTSマイスター (CGマイスター・クリエイティブマイスター・エンジニアリングマイスター、デジタルメディアマイスター)	
プロダクトデザイン検定 (1級・2級)	3Dプリンター活用技術検定

## 卒業後に受験可能な資格試験

建築設計の仕事に従事する人は「一級建築士」が目標となるでしょう。まずは、受験資格を取得できるよう、在学中に指定科目の単位を取りましょう。「一級建築士」は合格率が低い難関資格ですので、まずは「二級建築士」を取得するといいいでしょう。インテリアデザイナーをめざす人には、在学中から受験できる「インテリアプランナー」をお勧めしますが、卒業後に「二級建築士」も取得しておくことで仕事の幅が広がります。

建築士 (一級)	建築士 (二級)
木造建築士	建築施工管理技士 (1級・2級)